

JR東海労なごや

2010年7月2日 No 808
JR東海労名古屋地方本部
発行者：丹羽成生
編集者：教宣部

「責任組合」を放棄したユニオン名古屋地本！！

ユニオン組合員のみなさん！

私たちJR東海労名古屋地本は、去る6月18日に「IC乗車券不正使用と大量処分に関する申し入れ」をJR東海ユニオンに「申し入れ」を行いました。回答を6月30日までに行うよう求めてきました。

「申し入れ」に何ら回答できないユニオン名古屋地本！！

今回のIC乗車券の不正については、社会的にみても社会人としても決して許される行為ではありません。事態の本質には上意下達のみが重視され先輩後輩の人間関係がなくなった職場。やってはいけないことが多すぎて何が本当にいけないことか感覚が麻痺した社員。社員同士の助け合いがなくなり、他人のことにはお構いなしの職場の風潮。そして不正ができることを承知で装置を導入した会社など、多くの駅で同時多発的に発生したことを見れば、まさに起きるべきして起きた事態といわざるを得ません。

また、大量処分を許しているのは、JR東海ユニオンの存在があります。会社経営陣に盲従し、会社の問題性を指摘することなく、組合員の処分に対し無視を決め込んでいます。今後、同様の不祥事を起こさないことのみを組合員に強いています。組合としてのチェック機能を一切行おうとしません。労働組合としての責任を放棄したと断言せざるを得ません。

組合員を守ることなど微塵もないユニオンの見解！

ユニオンは、この問題について見解を出しました。驚くことに不正行為をした組合員が犯罪人のように語られ、大量処分が仕方なしのような見解になっています。組合員の声を代弁するのではなく、会社の意を示すような見解には大きな問題があります。

ユニオン組合員のみなさん！

もはや、東海ユニオンでは、組合員は守れません。ましてや職場の問題など何ら解決はしません。今こそ東海労に加入し、労働組合らしくあたり前の運動を職場から作り出しましょう。